

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号 14 学校名 本巣松陽高等学校

<p>学校教育目標 (教育方針)</p>	<p>「知・徳・体」の調和のとれた、人間性豊かでたくましく生きることのできる生徒の育成 1 知：学力の向上 2 徳：人間力の育成 3 体：活力の高揚</p>	
<p>3つの方針 (スクールポリシー)</p>	<p>どんな生徒を 育てたいか 【GP】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い視野と確かな学力をもち、自ら見出した課題に、粘り強く取り組むことができる生徒</li> <li>・ 自分の良さや可能性を認識し、コミュニケーション能力を発揮して、多様な人々と協働できる生徒</li> <li>・ 心身の健康を常に心掛け、自律的な生活ができる生徒</li> </ul>
	<p>生徒をどう 育てるか 【CP】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、地域との連携を大切にして「探究的な学び」を推進</li> <li>・ すべての教育活動において共感的な人間関係づくりを進めるとともに、「対話を重視した、楽しくわかる授業」を推進</li> <li>・ 校内外の活動における主体的な取り組みを支援することで、「自ら考え行動できる力」の育成を推進</li> </ul>
	<p>どんな生徒を 待っているか 【AP】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己実現に向けて、学習に取り組み、何事にも挑戦したいという熱意のある生徒</li> <li>・ 自他を尊重し、人とのつながりを大切にする生徒</li> <li>・ 地域の一員として自覚をもち、自主的な活動に積極的に参加したいという意欲のある生徒</li> </ul>
<p>学校の抱える課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観点別評価の在り方。ICT環境の活用推進。総合的な探究の時間の充実と指導体制の確立。</li> <li>・ いじめ事案において加害とされる対象が不明瞭である場合の対応の困難さ。努力義務下でのヘルメット着用率が低い状況。</li> <li>・ 生徒の学びに向かう姿勢の育成。複雑化する大学入学試験の情報のわかりやすい伝達。</li> <li>・ 生活習慣病、視力低下の増加。保健室頻回来室者の悩みの複雑さ。様々な持病を有する生徒への対応。</li> </ul>	
<p>教育指導の重点</p>	<p>領域・分野</p>	<p>今年度の具体的な重点目標</p>
	<p>学習指導</p>	<p>(1) 授業を大切にします。 (2) 基礎学力を付けます。 (3) 学習に向かう姿勢を育みます。</p>
	<p>生徒指導</p>	<p>(1) 心の結び付きを大切に育みます。 (2) 信頼され協働し活躍する場面を作ります。</p>
	<p>進路指導</p>	<p>(1) 生徒一人一人が、ふさわしいキャリアを形成し自立していけるよう、意欲・態度・能力を育成します。</p>
	<p>保健管理</p>	<p>(1) 「生きる力」をはぐくむ指導をとおして健康で安全に生きるための知恵と実践力を養い、心身共に健康的に生きる生徒を育成します。 (2) 自ら安全で快適な学習環境づくりと校内美化に努め、より良い環境で生活するための知恵と実践力を備えた生徒を育成します。</p>

年 度 目 標					年 度 末 評 価 (自 己 評 価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的な取組・方策	県教育振興基本計画での位置付け		達成度の判断・判断基準あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合評価 A. B. C. D
学習指導	一人一人に合う到達目標を定め、目標実現につながる授業を行う。	8	施策Ⅱ-8	①「生徒及び保護者アンケート」の「学習指導」に係る肯定的な評価が80% ②「授業アンケート」を通して、生徒の自己評価と授業評価を行い、授業の質的向上を図る。 ③総合的な探究の時間における「生徒アンケート」において、肯定的な評価が80%				
	協働して学び、考えを深め合える授業を行う。	8	施策Ⅱ-8					
	I C T環境の授業への活用を推進する。	9	施策Ⅱ-9					
	探究の仕方を学び、地域課題を探究する。	4	施策Ⅰ-4					
生徒指導	職員と生徒、生徒と生徒が信頼関係を築ける時間、積極的に対話を重ねる時間を設け、その信頼感の上に立って、ルールやマナーを指導する。	1	施策Ⅰ-1	「生徒及び保護者アンケート」の「規範意識の育成」「豊かな人間性の育成」「自主性・主体性の育成」に係る肯定的な評価が、全て80%以上				
	多様性時代であることを理解し、相互に配慮し合って生活するための人権意識を育成する。	2	施策Ⅰ-2					
	スクールカウンセラー、スクール相談員と連携し心のケアを行うとともに、「いじめを絶対に許さない学校」であり続ける。	3	施策Ⅰ-3					
	自分らしさを発揮しながら、自ら進んで取り組める行事や機会を提供し、教科指導では授業中に生徒が活躍する場をつくる。	1	施策Ⅰ-1					
進路指導	個々の生徒の進路希望に応じた学びを実施する。補習、小論文面接指導、実力試験、模擬試験を実施する。	8	施策Ⅱ-8	①模擬試験等の結果から、進路目標を達成するための力が身に付いているかを判断する。 ②講演会や各種体験等に対するアンケート結果から、進路意識が高まっているかを判断する。				
	出前授業や進路講演会等を実施し、将来の夢や職業について考えさせる。	13	施策Ⅱ-13					
	小学生に算数を教えるボランティア、幼稚園実習、ふれあい看護体験を通して、地域を知る。	4	施策Ⅰ-4					
	LHR等で進路について考える授業を実施する。	8	施策Ⅱ-8					
保健管理	健康診断の事前・事後指導を徹底する。	16	施策Ⅲ-16	健康診断後の受診率50%以上				
	食物アレルギー対応シミュレーションを実施する。教職員研修（エビベン）を実施する。	17	施策Ⅲ-17	生徒の食物アレルギー等相談・対応率80%以上				
	適切な換気を徹底し、感染拡大を防ぐ。	18	施策Ⅲ-18	換気徹底率（CO2モニター・サーキュレーター利用）100%				
	異なる危険を想定した命を守る訓練を実施する。（年間3回）	19	施策Ⅲ-19	「生徒及び保護者アンケート」の「地震や火災、台風等の対策」に係る項目の肯定的な評価 80%以上				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日